

埼玉社保協 F A X ニュース No. 101

発行・埼玉県社会保障推進協議会 さいたま市浦和区岸町 7-12-8 自治労連会館内
電話 048-865-0473 FAX048-865-0483 http://www.shahokyo.org

県政要求共同行動

県民のいのちを守る防波堤に

今年の県政要求共同行動は 11 月 10 日 (木) 13 時から「ほまれ会館」で行われます。社会保障分野では、5 つの分野の懇談項目を設定して懇談を行う予定です。各分野について、特に関係する団体や関係者の皆様のご参加とご発言の準備をお願いします。

県政要求共同行動

11 月 10 日(木)、ほまれ会館(玉蔵院隣)
さいたま市浦和区仲町 2-13-8

- 10 時～合同決起集会
- 13 時～県との懇談 社会保障分野

【懇談 事項】

- ①生活保護 13:15～「苦痛や差別を感じることのない対応、職員増員」
- ②子育て・保育 13:50～「待機児童解消、処遇改善と増員」
- ③障害者福祉 14:25～「入所施設待機者対策、県が施設整備費助成を」
- ④介護 15:10～「介護職員増員、介護保険料引下げ」
- ⑤医療 15:50～「国保運営、地域医療構想、医師・看護師増員」

安倍政権は社会保障プログラム法(2013 年 12 月)により連続する社会保障制度改悪を行っています。昨年の県との懇談を行っていた最中に深谷市一家の利根川心中事件があり、生活保護の申請を行ってながら命を助けられませんでした。



「保育所落ちた」の訴えが世論となっていますが、待機児童の対策や保育士の処遇改善と人員確保が大きな課題となっています。

4 月に障害者差別解消法を施行しましたが、7 月神奈川県障害者入所施設で大変痛ましい事件が発生しています。人権の問題として、県の積極的な対応を要請します。

今年の県政世論調査の 1 位が医療体制の整備となり、高齢者福祉が 2 位となり逆転しました。全国最下位の病床数、医師や看護師数の対策を県民は求めています。「ときどき入院、ほぼ在宅」の実態と対策を話しあいます。

財源不足を理由に社会保障費削減や消費税増税されています。輸出中心の大企業は大儲けし内部留保が急増していますが、庶民に還元されていません。パナマ文書の公開で日本からもタックスヘイブン(合法的な税金逃れ)で 100 兆円超が課税されていません。応能負担を原則とする公正な税制と所得の再配分機能の強化こそ必要です。

この行動は県民の切実な要求を背負って、地域の実情、現場の実態を明らかにする場です。限られた時間ですので、多くの方の発言で有意義な懇談となるようご準備をよろしくお願いします。

埼玉県後期高齢者医療広域連合議会 傍聴しましょう

11 月 14 日(月) 13:30～
さいたま市・別所沼会館

- ◆議題 15 年度決算など
- ◆埼玉社保協は「後期医療保険料特例軽減を求める意見書提出」を要請します。

介護・認知症なんでも無料電話相談

11 月 11 日(金)・介護の日
10 時～18 時まで

電話 0120-380110

主催・社保協・認知症の人と家族の会

新国保パンフ 大好評で売切れ!

販売価格 50 円 (卸値 1 冊 25 円)

予約受付中です。増刷でき次第送付します。ご注文お急ぎください。